

2 個別事業評価調書

団体名 :与謝野町

事業名	大代会館下水道整備事業					
事業の概要	当施設は地域住民の会合等地域コミュニティ活動の中心施設として広く活用されている。また、施設自体は新しく立地条件にも恵まれているが、下水道化は未実施であったため、今回施設の下水道化を行うことで衛生面の向上を図るものである。					
	目標時期	平成17年度				
	総事業費	622	本年度事業費	622	交付金交付額	311
事業の必要性	旧加悦町地区計画では、地域コミュニティ充実のため、公民館等の積極的な利用を推進しているが、施設の老朽化、高齢化社会の進展によるバリアフリー化への対応、緊急時の避難場所としての安全性の確保等整備すべき課題が山積しているのが現状であり、多様化する公民館のニーズに耐え得る環境づくりが急務となっている。					
事業の有効性	施設の水洗化によって衛生面の改善を図り、利用者の快適性を向上させることで、公民館の利用の活性化即ち地域コミュニティの充実に繋がる。					
事業の効率性	地元自治会の要望に沿った効率的な整備がなされた。					
具体的な成果	1 府と市町村等との連携に資する成果					
	2 住民の自治意識を高める成果 地域コミュニティの中核施設としての地区会館の利便性を高めることにより、より活発な地域コミュニティ活動の実現に資する。					
	3 リーディング・モデル成果					
	4 広域的波及成果					
	5 行財政改革に資する成果 小規模修繕を繰り返すのではなく、将来を見据えた整備を行うことにより、後年度の財政負担を軽減するものである。					
	6 その他の成果					

記載要領)

- 1 事業ごとに本様式を作成すること。
- 2 具体的な成果」欄については、できる限り客観的な数値を掲げて具体的に記載すること。